

【情報提供】

調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会について

- ・適切な発注方式の選定
- ・技術者評価を重視した選定

業務内容に応じた 適切な発注方式の選定について

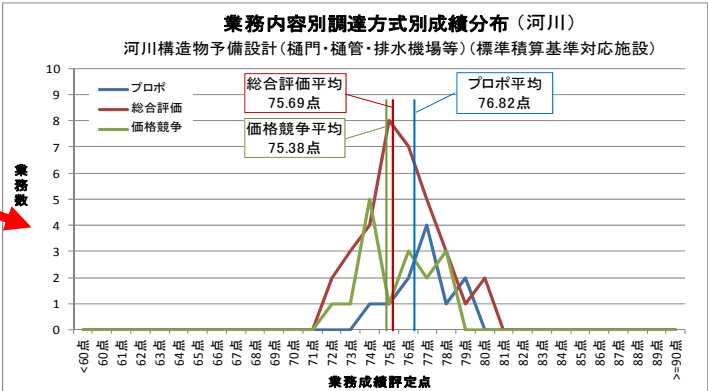
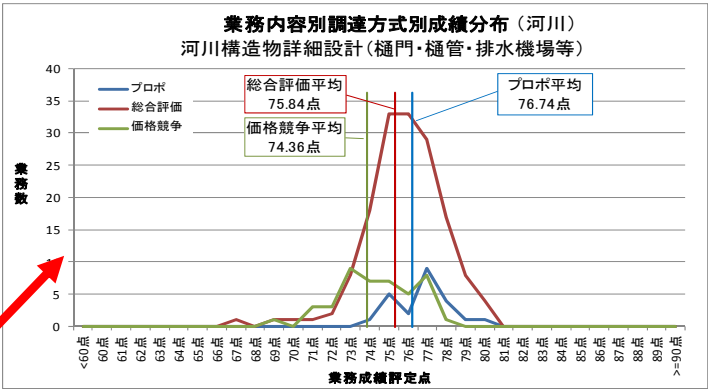
業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

現状の課題認識

- 1) 総合評価落札方式等を標準とする業務の中にプロポーザル方式を活用すべき業務があるのではないかな。
- 例えば、道路の概略設計や予備設計については、企画立案に高度な技術力を要するとともに、業務成績においても、他の方式に比べ、プロポーザル方式の方が良好となっている。
- 2) プロポーザル方式で実施すべき業務が他の方式で実施されており、業務成果の品質の低下をまねく恐れ。
- 運用ガイドラインの「標準的な業務内容に応じた発注方式事例」図でプロポーザル方式に位置付けられた工種において、他の発注方式で過半近くも実施されている業務が見受けられる。

【河川事業】

推奨方式	業務詳細	調達方式別件数(赤字は推奨方式)							合計	推奨方式適用率
		プロポ	総合評価				価格	随契		
			全体	1:1	1:2	1:3				
プロポ	河川整備基本計画、河川整備計画、河道計画検討	182	8	5	3	0	2	0	192	94.8%
プロポ	環境管理基本計画	9	0	0	0	0	1	0	10	90.0%
プロポ	環境調査・分析(高度)	103	49	29	17	3	34	0	188	55.9%
プロポ	洪水予測システム検討	63	3	2	1	0	5	0	73	89.0%
プロポ	事業評価	81	9	6	3	0	2	0	92	88.0%
プロポ	自然再生計画検討	30	7	2	5	0	5	0	42	71.4%
プロポ	水文データ照査検討	21	0	0	0	0	4	0	31	87.1%
プロポ	特殊構造物予備・詳細設計(樋門・樋管・排水機場等以外)	48	33	12	19	2	9	0	90	53.3%
総合評価	プロポ 河川景観設計	7	1	0	1	0	1	0	9	88.9%
総合評価	プロポ 河川構造物予備設計(樋門・樋管・排水機場等)	2	4	0	2	2	0	0	6	100.0%
総合評価	プロポ 環境アセスメント	40	24	18	6	0	2	0	66	97.0%
総合評価	プロポ 危機管理等(演習)	42	12	8	3	1	4	0	58	93.1%
総合評価	プロポ 治水経済調査	2	2	2	0	0	0	0	4	100.0%
総合評価	プロポ 氾濫解析	34	6	3	2	1	3	0	43	93.0%
総合評価	河川構造物詳細設計(樋門・樋管・排水機場等)	31	178	111	57	10	46	4	259	68.7%
総合評価	河川構造物予備設計(樋門・樋管・排水機場等)(標準積算基準対応施設)	16	38	25	12	1	17	0	71	53.5%
総合評価	河川水辺の国勢調査	4	141	115	26	0	3	0	148	95.3%
総合評価	施設健全度調査	16	10	4	6	0	4	0	30	33.3%
総合評価	堤防・護岸設計	32	175	123	46	6	79	1	287	61.0%
価格競争	総合評価 水文・水質観測	14	58	55	3	0	19	0	91	84.6%
価格競争	総合評価 耐震調査	33	29	9	20	0	0	0	62	46.8%
価格競争	河川台帳作成	3	3	3	0	0	2	0	8	25.0%
価格競争	施設点検調査	6	33	18	15	0	20	1	60	33.3%
	合計	829	823	550	247	26	262	6	1920	



*『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』(平成23年6月)

* 調達方式別件数は、上記運用ガイドラインの標準的な業務内容に合致した発注件数を集計

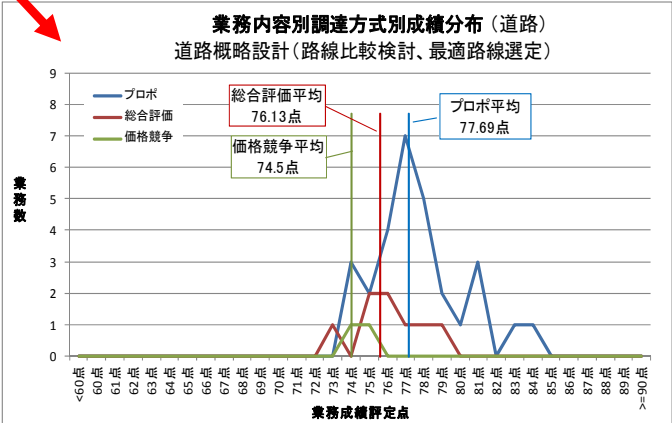
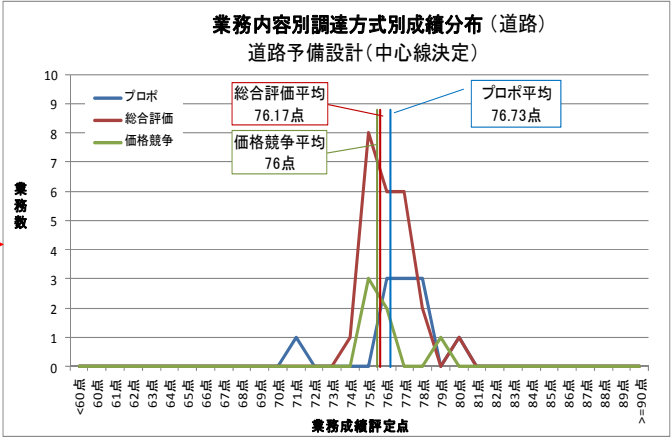
* 出所:国土交通省調べ(平成24年度)

業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

現状の課題認識

【道路事業】

推奨方式	業務詳細	調達方式別件数(赤字は推奨方式)							合計	推奨方式適用率
		プロポ	総合評価				価格	随契		
			全体	1:1	1:2	1:3				
プロポ	道路網整備計画検討	87	10	9	1	0	17	0	114	76.3%
プロポ	道路・橋梁等構造物景観設計	3	4	2	2	0	3	0	10	30.0%
総合評価	プロポ 防災対策検討	51	24	13	11	0	10	0	85	88.2%
総合評価	プロポ 道路予備設計(中心線決定)	13	24	7	10	7	6	0	43	86.0%
総合評価	プロポ 道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	31	8	5	1	2	2	0	41	95.1%
総合評価	プロポ 道路・交通等現況分析	90	13	4	8	1	14	0	117	88.0%
総合評価	プロポ 整備効果分析検討	92	8	5	2	1	9	0	109	91.7%
総合評価	プロポ 事業評価	32	7	5	2	0	3	0	42	92.9%
総合評価	プロポ 構造物予備・補修設計(大型、特殊)トンネル設計	28	50	30	16	4	3	0	81	96.3%
総合評価	プロポ 構造物詳細設計(大型、特殊)	29	85	31	41	13	22	1	137	83.2%
総合評価	プロポ 交通需要予測検討	29	5	2	3	0	0	0	34	100.0%
総合評価	プロポ 交通安全・渋滞対策等検討	78	17	8	9	0	20	0	115	82.6%
総合評価	プロポ 交差点設計(立体交差)	1	2	0	2	0	1	0	4	75.0%
総合評価	プロポ 環境基礎調査(文献・現地調査等)	53	50	35	10	5	18	0	121	85.1%
総合評価	プロポ 環境アセスメント	59	18	10	5	3	6	1	84	91.7%
総合評価	プロポ PIプロセス・社会実験実施	7	0	0	0	0	0	0	7	100.0%
総合評価	道路予備設計(用地幅決定)	7	36	26	7	3	3	0	46	78.3%
総合評価	定期点検結果の診断	5	12	2	9	1	2	0	19	63.2%
総合評価	構造物予備設計(一般)	14	44	23	9	12	13	0	71	62.0%
総合評価	構造物詳細・補修設計(一般)	102	515	331	167	17	213	2	832	61.9%
価格競争	総合評価 道路詳細設計	22	284	208	75	1	197	3	506	95.1%
価格競争	総合評価 定期点検、緊急点検	23	227	165	53	9	74	0	324	92.9%
価格競争	総合評価 交差点設計(一般)	7	35	24	11	0	24	0	66	89.4%
価格競争	交通量観測	1	7	6	1	0	21	0	29	72.4%
価格競争	環境調査(常時観測等)	28	32	17	15	0	23	0	83	27.7%
価格競争	各種資料作成	48	187	68	119	0	144	2	381	37.8%
合計		940	1704	1036	589	79	848	9	3501	



* 出所:国土交通省調べ(平成24年度)

*『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』(平成23年6月)

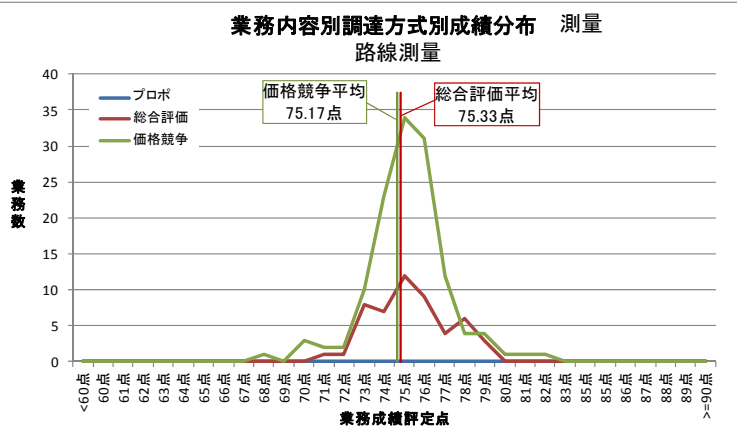
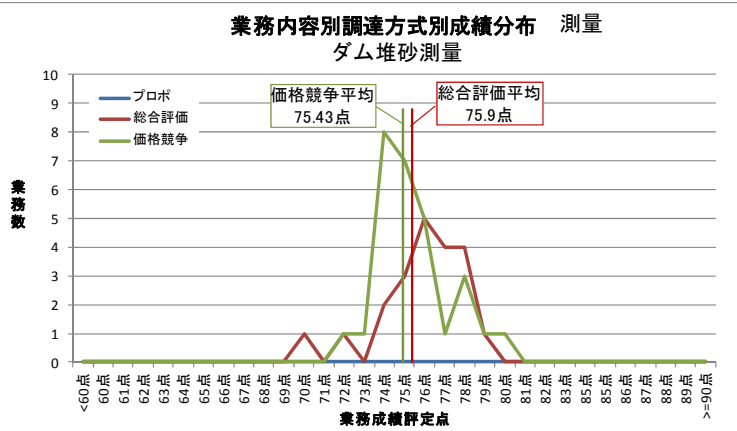
* 調達方式別件数は、上記運用ガイドラインの標準的な業務内容に合致した発注件数を集計

業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

現状の課題認識

【測量調査】

推奨方式	業務詳細	調達方式別件数(赤字は推奨方式)							合計	推奨方式適用率
		プロポ	総合評価				価格	随契		
			全体	1:1	1:2	1:3				
プロポ	データ共有／総合GIS	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	製品仕様書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	三次元地形モデル作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	GIS／CADデータ化	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	プロポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	プロポ	5	27	25	2	0	3	0	35	91.4%
総合評価	プロポ	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	都市計画図	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	写真地図作成(デジタルオルソ)	0	1	1	0	0	0	0	1	100.0%
総合評価	地図編集(特殊ケース)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	基盤地図情報作成	0	0	0	0	0	7	0	7	0.0%
価格競争	総合評価	0	20	18	2	0	11	0	31	100.0%
価格競争	総合評価	0	21	20	1	0	28	0	49	100.0%
価格競争	総合評価	0	22	20	2	0	23	1	46	97.8%
価格競争	総合評価	2	22	18	4	0	3	1	28	89.3%
価格競争	総合評価	0	16	16	0	0	27	0	43	100.0%
価格競争	総合評価	0	5	5	0	0	6	0	11	100.0%
価格競争	総合評価	0	54	52	2	0	133	0	187	100.0%
価格競争	総合評価	0	36	35	1	0	111	6	153	96.1%
価格競争	総合評価	0	24	24	0	0	57	0	81	100.0%
価格競争	総合評価	0	45	41	4	0	84	3	132	97.7%
価格競争	総合評価	0	16	16	0	0	159	1	176	99.4%
価格競争	総合評価	0	0	0	0	0	2	0	2	100.0%
価格競争	総合評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
価格競争	総合評価	0	18	18	0	0	20	0	38	52.6%
価格競争	総合評価	0	0	0	0	0	1	0	1	100.0%
価格競争	総合評価	0	0	0	0	0	3	1	4	75.0%
価格競争	総合評価	0	40	40	0	0	56	0	96	58.3%
価格競争	総合評価	0	2	2	0	0	1	0	3	33.3%
価格競争	総合評価	0	2	2	0	0	2	0	4	50.0%
	合計	7	371	353	18	0	739	13	1130	



*『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』(平成23年6月)

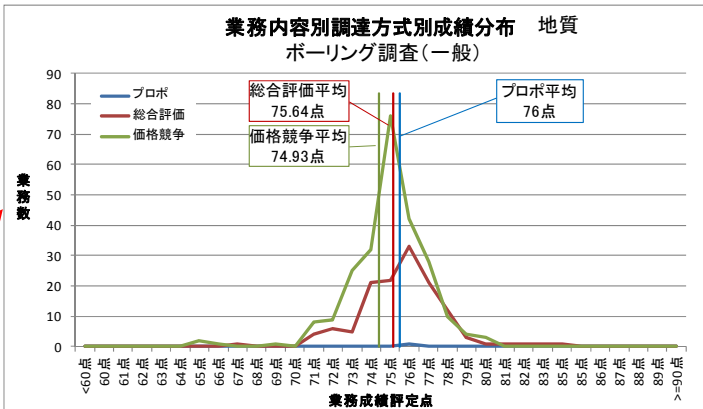
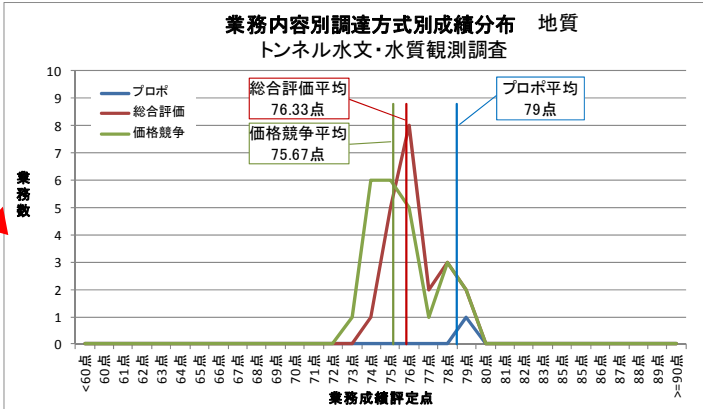
* 調達方式別件数は、上記運用ガイドラインの標準的な業務内容に合致した発注件数を集計

業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

現状の課題認識

【地質調査】

推奨方式	業務詳細	調達方式別件数(赤字は推奨方式)							合計	推奨方式適用率
		プロポ	総合評価				価格	随契		
			全体	1:1	1:2	1:3				
プロポ	地盤・環境関連企画調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	動的応答解析	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	ダム地質解析	0	0	0	0	0	2	0	2	0.0%
プロポ	トンネル応力変形解析	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
プロポ	地盤環境調査解析	1	0	0	0	0	1	0	2	50.0%
プロポ	地表地質踏査及び資料収集	2	1	0	1	0	0	0	3	66.7%
プロポ	トンネル変状調査	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0%
プロポ	地質総合解析	6	17	3	14	0	1	0	24	25.0%
プロポ	トンネル湧水影響調査・解析	3	0	0	0	0	3	0	6	50.0%
総合評価	プロポ 軟弱地盤安定・沈下概略検討	2	0	0	0	0	2	0	4	50.0%
総合評価	プロポ 施工時計測管理(高盛土・トンネル等)	0	1	1	0	0	1	0	2	50.0%
総合評価	プロポ 浸透流解析	2	4	2	1	1	0	0	6	100.0%
総合評価	プロポ 軟弱地盤対策検討	3	3	2	1	0	8	0	14	42.9%
総合評価	プロポ 地すべり機構解析	1	2	0	2	0	3	1	7	42.9%
総合評価	プロポ 地すべり対策工検討設計	2	1	1	0	0	0	0	3	100.0%
総合評価	プロポ 広域地下水流動調査・解析	1	4	4	0	0	4	0	9	55.6%
総合評価	軟弱地盤特殊土質試験	0	1	0	0	1	2	0	3	33.3%
総合評価	地質調査(予備・詳細設計用、一般)	1	55	44	11	0	68	0	124	44.4%
総合評価	動的土質試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	液状化判定(解析含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合評価	トンネル水文・水質観測調査	2	26	26	0	0	26	0	54	48.1%
総合評価	地盤環境(土壌・地下水等)調査	0	20	19	1	0	7	0	27	7.1%
価格競争	総合評価 高盛土計器設置及び観測	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
価格競争	総合評価 地すべり計器設置及び観測	1	21	18	3	0	22	1	45	95.6%
価格競争	総合評価 ボーリング調査(一般)	1	140	131	9	0	259	4	404	98.8%
価格競争	総合評価 土質試験・検層(一般)	1	3	3	0	0	10	2	16	81.3%
価格競争	総合評価 物理(弾性波等)探査	0	3	2	1	0	3	0	6	100.0%
合計		29	302	256	44	2	423	8	762	



*『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』(平成23年6月)

* 調達方式別件数は、上記運用ガイドラインの標準的な業務内容に合致した発注件数を集計

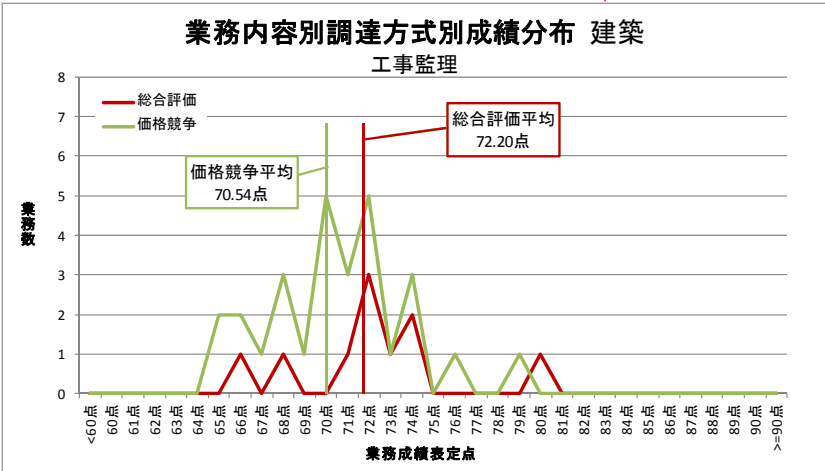
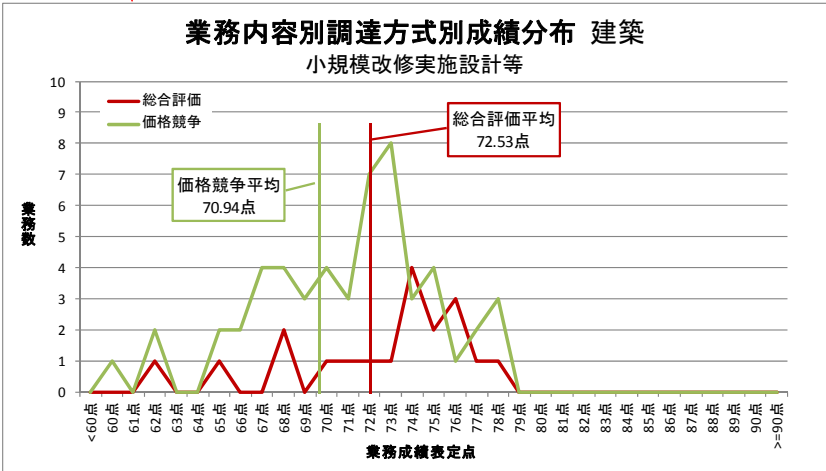
業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

現状の課題認識

【建築】

推奨方式	業務詳細	調達方式別件数(赤字は推奨方式)							合計	推奨方式 適用率	
		プロポ	総合評価				価格	随契			
			全体	1:1	1:2	1:3					
プロポ	建築士法第3条又は同3条の2に規定する設計 環境配慮契約法第5条に規定する基本方針に基づき契約する設計	16	0	0	0	0	0	0	16	100.0%	
プロポ	PFI事業に係る整備検討(財務・法務、建築計画)	1	0	0	0	0	0	2	3	33.3%	
プロポ	ESCO事業に係る整備検討	0	0	0	0	0	0	0	0	－	
プロポ	大規模改修実施設計等	26	0	0	0	0	0	4	30	86.7%	
総合評価	耐震診断	0	6	0	6	0	0	0	6	100.0%	
総合評価	建築物の環境保全性に関する診断	0	0	0	0	0	0	0	0	－	
価格競争	総合評価	小規模改修実施設計等	0	20	7	13	0	69	1	90	98.9%
価格競争	総合評価	工事監理	0	23	11	12	0	50	3	76	96.1%
価格競争	総合評価	敷地調査	0	0	0	0	0	3	1	4	75.0%
価格競争		積算	0	6	6	0	0	5	0	11	45.5%
		合計	43	55	24	31	0	127	11	236	

※設計意図伝達業務を除く



*『建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン』(平成23年6月)

* 調達方式別件数は、上記運用ガイドラインの標準的な業務内容に合致した発注件数を集計

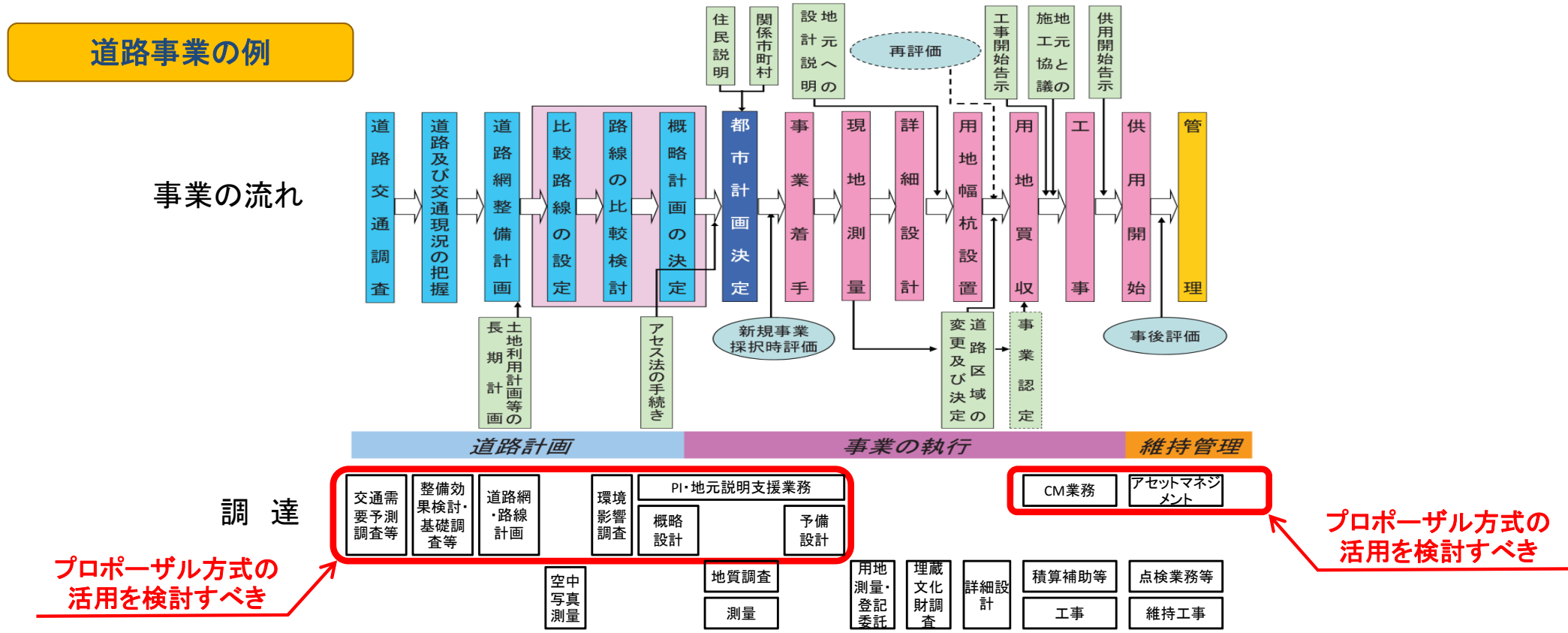
業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

論点と検討の方向性

論点 業務内容に応じて適切な発注方式が選定できるように、具体的に示す必要があるのではないか。

方向性 1) プロポーザル方式で実施すべき業務を明確化するため、業務内容や選定の考え方を明示する。

- ・プロポーザル方式を選定するための考え方について、次の視点を加えるものとする。
 - ①企画立案等が主要な業務
 - ②分析・検討、概略設計、予備設計など、工夫の余地が大きく、工事の品質に大きな影響を与える恐れのある業務



※出典：道路局資料及び「公共事業改革プロジェクト小委員会 報告書 2011年8月 公益社団法人 土木学会建設マネジメント委員会 公共事業改革プロジェクト省員会」を参考に作成

業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

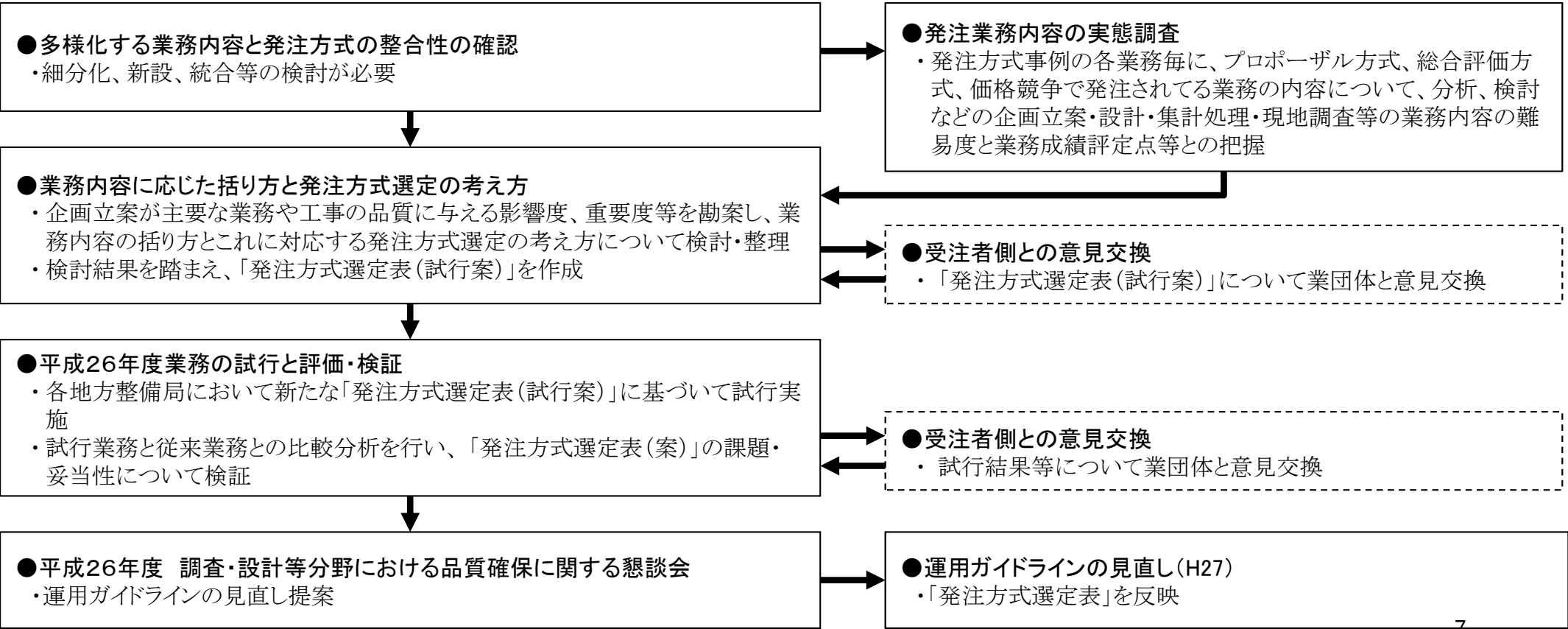
論点と検討の方向性

論点 業務内容に応じて適切な発注方式が選定できるように、具体的に示す必要があるのではないか。

方向性 2) 適切に発注方式が選定できる選定表の策定

・運用ガイドラインの「標準的な業務内容に応じた発注方式事例」図に替えて、客観性、透明性を確保し、容易かつ、明確に適切な発注方式の選定ができる資料を策定する。

【進め方(案)】



業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

道路事業の例 「標準的な業務内容に応じた発注方式事例」
図の見直し

事例図上の業務名	発注方式
道路網整備計画検討	プロポ
道路・橋梁等構造物景観設計	プロポ
道路予備設計(中心線決定)	プロポ
道路予備設計(中心線決定)	総合評価
PIプロセス、社会実験実施	プロポ
PIプロセス、社会実験実施	総合評価
交差点設計(立体交差)	プロポ
交差点設計(立体交差)	総合評価
交通需要予測検討	プロポ
交通需要予測検討	総合評価
構造物予備・補修設計(大型・特殊)トンネル設計	プロポ
構造物予備・補修設計(大型・特殊)トンネル設計	総合評価
構造物詳細設計(大型・特殊)	プロポ
構造物詳細設計(大型・特殊)	総合評価
道路交通等現況分析	プロポ
道路交通等現況分析	総合評価
環境アセスメント	プロポ
環境アセスメント	総合評価
道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	プロポ
道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	総合評価
事業評価	プロポ
事業評価	総合評価
整備効果分析検討	プロポ
整備効果分析検討	総合評価
防災対策検討	プロポ
防災対策検討	総合評価
環境基礎調査(文献、現地調査等)	プロポ
環境基礎調査(文献、現地調査等)	総合評価
交通安全対策、渋滞対策等検討	プロポ
交通安全対策、渋滞対策等検討	総合評価
定期点検結果の診断	総合評価
構造物予備設計(一般)	総合評価
構造物詳細・補修設計(一般)	総合評価
道路予備設計(用地幅決定)	総合評価
道路詳細設計	総合評価
道路詳細設計	価格競争
交差点設計(一般)	総合評価
交差点設計(一般)	価格競争
定期点検、緊急点検	総合評価
定期点検、緊急点検	価格競争
環境調査(常時観測等)	価格競争
交通量観測	価格競争
各種資料整理	価格競争

境界線上から
プロポへ移行

総合評価から
プロポへ移行

境界線上から
総合評価へ移行

新たな「発注方式選定表」の整理イメージ

発注方式	事例図上の業務名	業務の内容
プロポ	道路網整備計画検討	
プロポ	水文調査(分析等含む)	
プロポ	道路・橋梁等構造物景観設計	
プロポ	道路予備設計(中心線決定)	
プロポ	PIプロセス	
プロポ	社会実験実施	
プロポ	交差点設計(大規模立体)	
プロポ	交通需要予測検討	
プロポ	構造物予備設計(大型・特殊)	
プロポ	構造物詳細・補修設計(大型・特殊)	
プロポ	定期点検結果の診断	
プロポ	道路・交通等現況分析	マニュアル等で手法が決まっているものを除き、調査計画、企画立案を伴うもの等
総合評価	道路・交通等現況分析	マニュアル等で手法が決まっているもの
プロポ	環境アセスメント	企画立案から実施するもの、方法書作成等
総合評価	環境アセスメント	調査項目の追加補足調査及びそのとりまとめ
プロポ	道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	新規にルーティングを行うもの等
総合評価	道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	既存ルートの部分的見直し
プロポ	事業評価	全体計画を含むもの等
総合評価	事業評価	交通量予測結果に基づき便益計算のみ行うもの
プロポ	整備効果分析検討	企画立案から実施するもの、委員会運営を伴うもの
総合評価	整備効果収集・整理	データ収集、簡易な分析のみ
プロポ	防災対策検討	工法検討を行うもの、委員会運営を伴うもの
総合評価	防災対策設計	詳細設計のみ
プロポ	環境基礎調査(文献・現地調査等)	企画立案から実施するもの、貴重種を含むもの
総合評価	環境基礎調査(文献・現地調査等)	補足・継続調査
プロポ	交通安全・渋滞対策等検討	事故分析、渋滞分析、委員会運営
総合評価	交通安全・渋滞対策設計	予備・詳細設計のみ
総合評価	構造物予備(一般)	
総合評価	構造物詳細・補修設計(一般)	
総合評価	道路予備設計(用地幅決定)	
総合評価	道路詳細設計(一般)	新規に実施するもの、構造物を含むもの
総合評価	交差点設計(立体)	
総合評価	定期点検、緊急点検	
価格競争	道路詳細設計(修正)	
価格競争	交差点設計(一般)	
価格競争	環境調査	常観等定型的調査
価格競争	交通量観測	
価格競争	各種資料作成他	

業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【調査内容】

○業務の出口段階の情報として、試行業務と従来業務の業務成績評定点（内訳を含む）を調査。

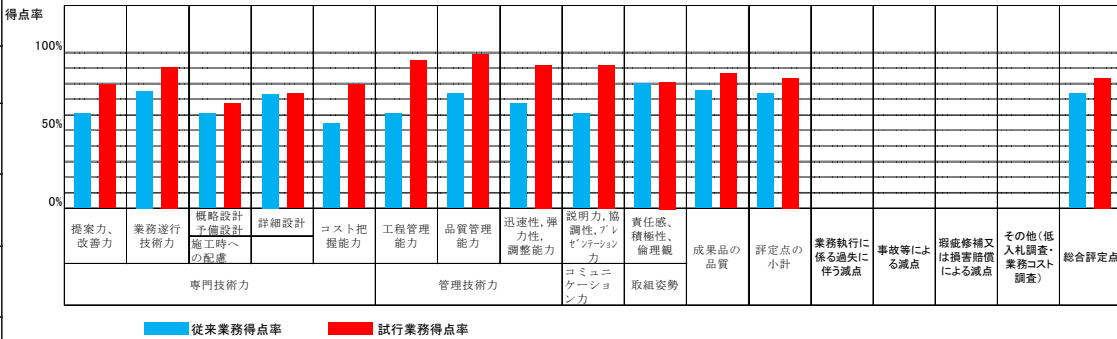
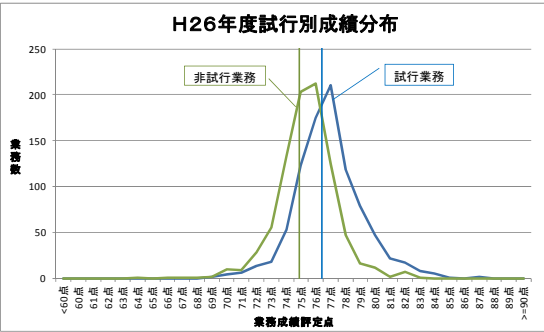
出口段階：業務成績評定点の調査項目（案）				
評価項目		管理技術者	担当技術者	照査技術者
専門技術力	提案力、改善力	9.5	9.5	—
	業務遂行技術力	19.0	19.0	—
	施工時への配慮	概略設計	—	—
		予備設計	—	—
	詳細設計	—	—	—
管理技術力	コスト把握能力	—	—	—
	工程管理能力	9.5	9.5	—
	品質管理能力	9.6	9.6	66.7
	迅速性、弾力性、調整能力	4.8	4.8	—
コミュニケーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	4.8	4.8	—
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	9.5	9.5	—
成果品の品質		33.3	33.3	33.3
評定点の小計		100.0	100.0	100.0
業務執行に係る過失に伴う減点		0.0	0.0	0.0
事故等による減点		0.0	0.0	0.0
瑕疵修補又は損害賠償による減点		0.0	0.0	0.0
その他（低入札調査・業務コスト調査）		0.0	0.0	0.0
総合評定点		100.0	100.0	100.0

【分析・評価方法】

I. 試行業務と従来業務との比較分析

・試行業務と従来業務の成績について同種業務間で比較し、試行による成績について分析・評価

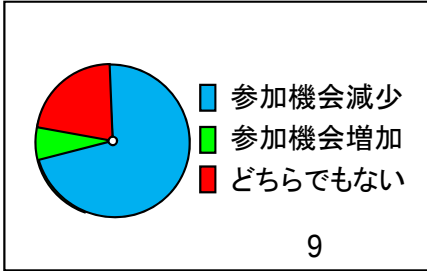
I. 分析イメージ



II. アンケート結果の整理

・アンケート結果より、試行による効果・影響の有無について整理

II. 分析イメージ



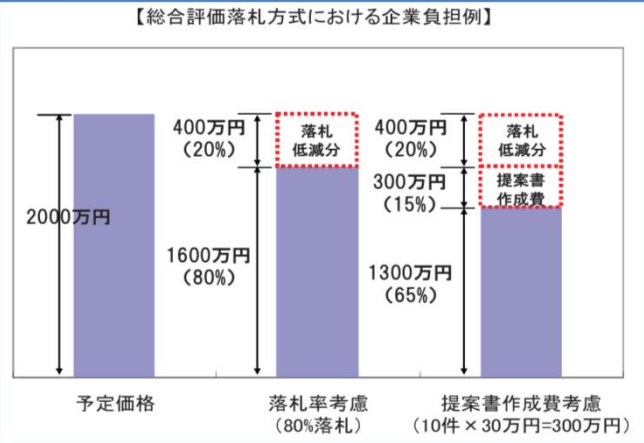
技術者評価を重視した選定について

技術者評価を重視した選定について

現状の課題認識

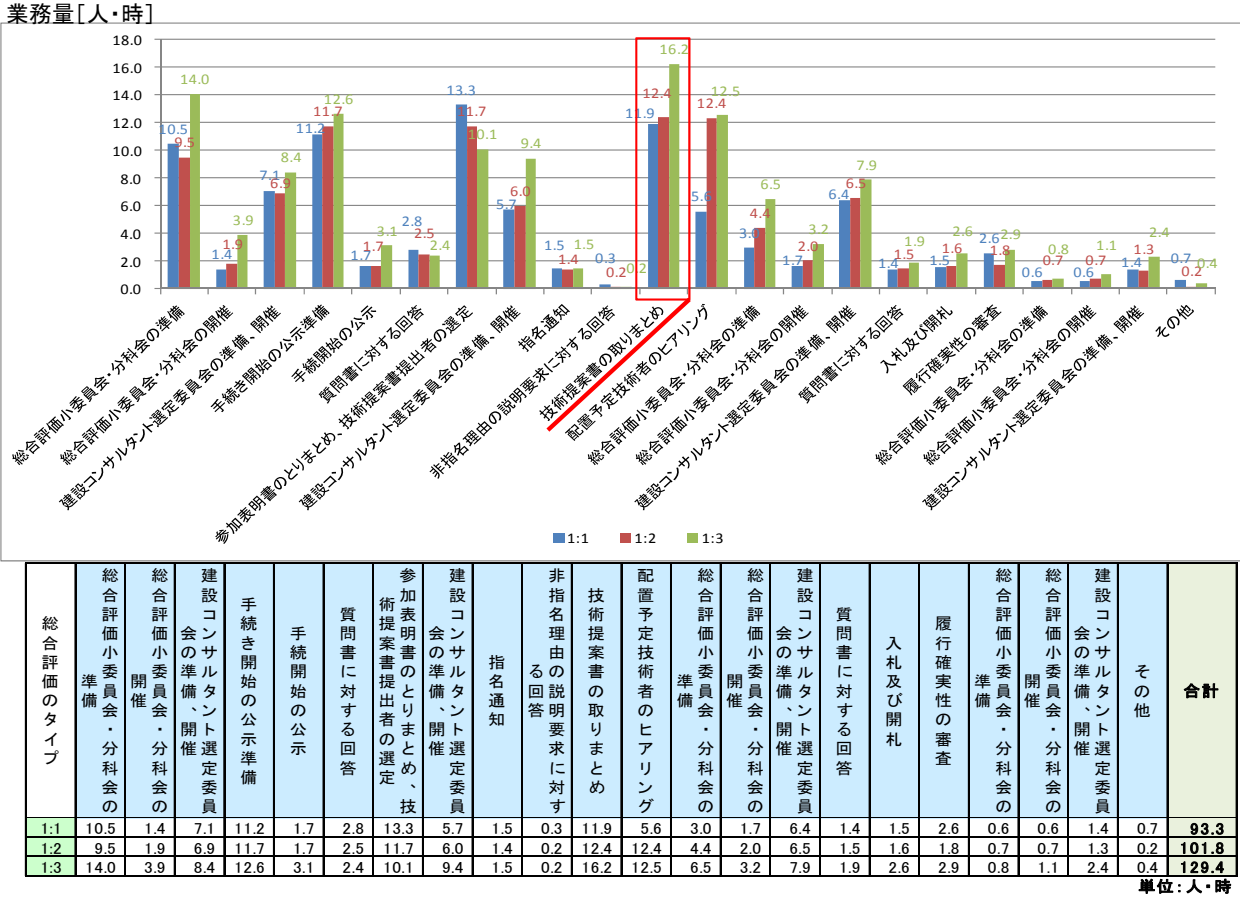
- 1) 総合評価落札方式の標準型(1:2、1:3)の業務は、評価テーマに関する技術提案の作成や技術提案の審査とりまとめなど、受注者、発注者双方ともに、負担感が大きい。
- ・ 受注者における技術提案の作成経費負担が継続的に蓄積するとともに、発注者が行う技術提案の審査とりまとめに12～16時間・人を要している。

【受注者側の技術提案書作成費】



※出典:「平成25年度 建設コンサルタント白書 平成25年6月 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会」

【発注者側の審査等の配点比率別の事務作業量】



技術者評価を重視した選定について

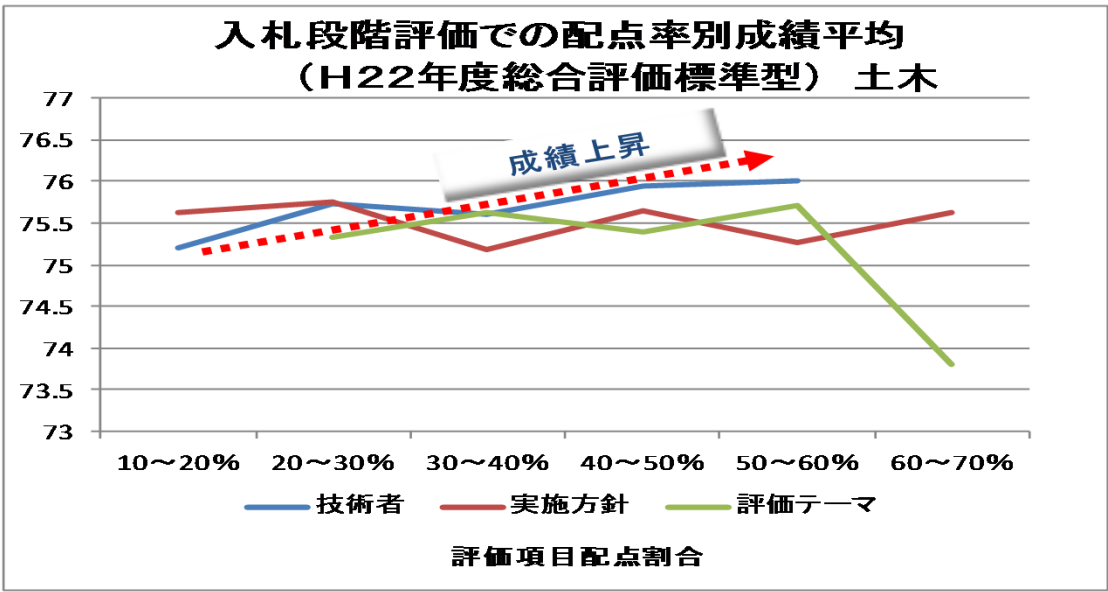
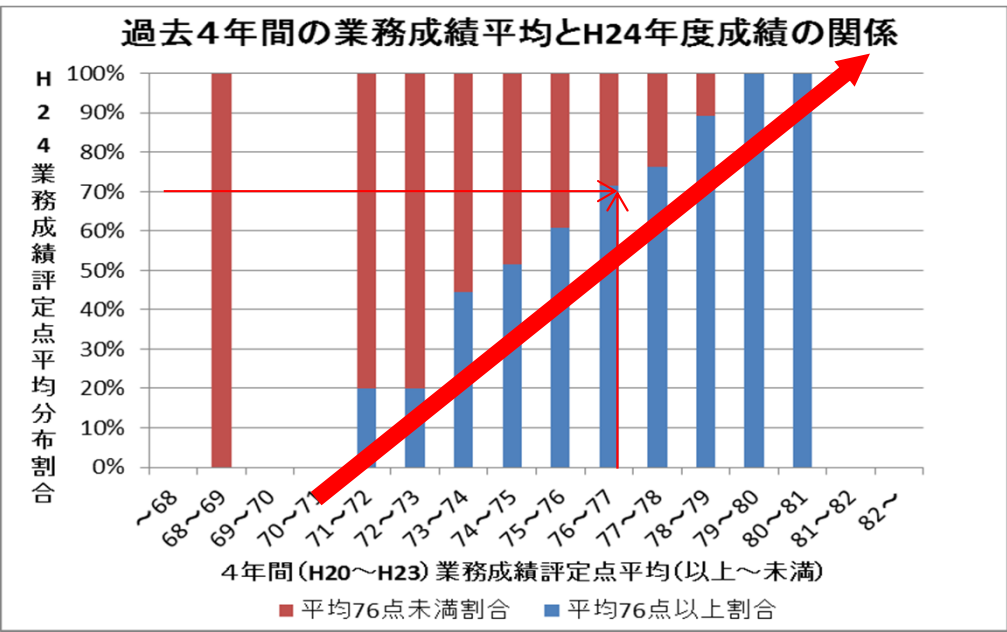
現状の課題認識

2) 技術者個人の過去の成績は、今回成績に概ね比例しており、信頼性が高い指標といえるが、現在は、評価ウエイトが小さく、非効率ではないか。

3) 評価テーマについては、配点割合が高くなっても、成績が向上するといった相関関係は、確認できない。
※技術者成績では、評価ウエイトが高まると業務成績も比例して高くなる。

- 管理技術者の過去の業務成績が高くなるほど、今回の成績が高くなる割合が増加。
 - ・平成20～23年度の4箇年の業務成績の平均が76点以上の管理技術者の7割以上が平成24年度の業務成績の平均が76点以上。

- 「実施方針」、「評価テーマ」は、配点割合が高くなっても、ほぼ75.5で一定の平均的成績を示している。
一方、「予定技術者の経験及び能力」は配点割合が高くなればなるほど、平均成績も76点と、1点ほど高くなる傾向が確認された。



※平成22年度の土木関係建設コンサルタント業務について、入札段階12の「予定技術者の経験及び能力」、「実施方針」、「評価テーマ」の配点割合別で分析

技術者評価を重視した選定について

論点 技術者の成績評価ウエイトを高めると、成果品質の向上が期待できるのではないか。

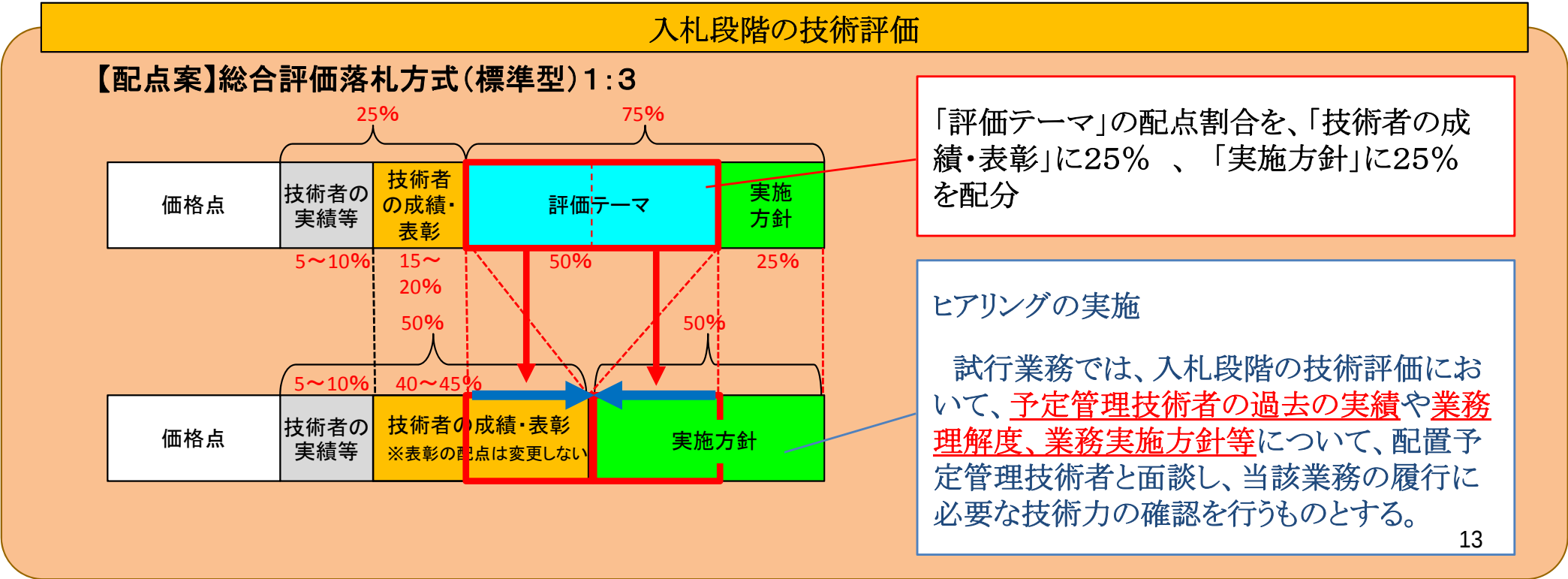
方向性 入札段階の技術点を構成する評価テーマの配点を取りやめ、技術者の成績・表彰と実施方針への配点を拡大する。

技術者評価の配点を拡大する試行について

【実施内容】

- 対象業務 ; 平成26年度に総合評価落札方式の標準型で発注する土木関係建設コンサルタント業務
- 試行規模 ; 実施件数は、事業毎に1～2割程度
- 試行 ; 総合評価落札方式の標準型(1:3)により実施

留意点 ; 実施方針の評価点は、過去の同種業務の実績、業務理解度、業務実施方針等について、ヒアリングを実施して決定。



技術者評価を重視した選定について

【入り口の内容】

- 試行業務と試行業務と同種の非試行業務を対象。
- 選定・指名時の技術評価及び特定・入札時の技術評価のそれぞれの評価項目に係る配点と参加者の得点の状況について調査。

入口段階：配点及び得点状況の調査項目（案）

調査項目(案) 通常業務						
基礎情報		部局名	〇〇地方整備局〇〇事務所			
		業務名	〇〇設計業務			
		入札年月日	2015/6/1			
		契約年月日	2015/6/2			
		業務区分	土木コンサルタント			
		入札方式	公募型指名競争入札			
		総合評価の有無	有			
		予定価格(税抜き)	〇〇円			
		調査基準価格(税抜き)	〇〇円			
		価格点:技術点	1:3			
		入札業者名		A社	B社	...
		技術点		43.8	39	30
価格点		15	18	16		
落札・非落札			落札			
調査項目(案)		配点	A社の得点	B社の得点	...	
管理技術者及び主任技術者／担当技術者／照査技術者	技術者の実績等	◎資格要件	2	2	2	
		◎同種・類似業務の実績	2	2	1	
		○情報収集力（地域精通度）	1	1	1	
		○当該分野の従事期間				
	技術者の成績・表彰等	手持ち業務（専任性）				
		◎業務成績評定点	10	10	8	
実施方針	技術者の成績・表彰等	◎優良表彰	10	10	0	
		○継続教育（CPD）				
	◎業務内容の理解度	5	5	5		
	◎実施手順（実施フロー）	5	3	5		
	◎工程計画の妥当性	5	3	5		
	◎業務に関する知識、 有益な代替案、重要事項の指摘	5	2	5		
	○業務の円滑な実施に関する提案	5	0	5		
	実施方針（着眼点）の妥当性					
業務実施体制の妥当性						
評価テーマ (テーマ数分) ※通常業務のみ入力	○テーマ間の整合性	10	8	6		
	◎的確性（妥当性・的確性）	20	15	10		
	◎実現性	20	12	12		
	独創性					
技術点(60点換算前)		100	73	65		

調査項目（案） 試行業務						
基礎情報		部局名	〇〇地方整備局〇〇事務所			
		業務名	〇〇設計業務			
		入札年月日	2015/6/1			
		契約年月日	2015/6/2			
		業務区分	土木コンサルタント			
		入札方式	公募型指名競争入札			
		総合評価の有無	有			
		予定価格（税抜き）	〇〇円			
		調査基準価格（税抜き）	〇〇円			
		価格点：技術点	1:3			
		入札業者名		A社	B社	C社
		技術点		55.2	35.4	30
価格点		15	18	16		
落札・非落札			落札			
調査項目（案）		配点	A社の得点	B社の得点	...	
管理技術者及び 主任技術者／ 担当技術者／ 照査技術者	技術者の 実績等	◎資格要件	2	2	2	
		◎同種・類似業務の実績	2	2	1	
		○情報収集力（地域精通度）	1	1	1	
		○当該分野の従事期間				
	技術者の 成績・表 彰等	手持ち業務（専任性）				
		◎業務成績評定点	35	35	15	
実施方針	◎優良表彰	10	10	10		
	○継続教育（CPD）					
	◎業務内容の理解度	10	10	10		
	◎実施手順（実施フロー）	10	10	8		
	◎工程計画の妥当性	10	8	6		
	◎業務に関する知識、 有益な代替案、重要事項の指摘	10	8	6		
	○業務の円滑な実施に関する提案	10	6	0		
	実施方針（着眼点）の妥当性					
評価テーマ （テーマ数分） ※通常業務のみ入力	業務実施体制の妥当性					
	○テーマ間の整合性					
	◎的確性（妥当性・的確性）					
	◎実現性					
独創性						
合計（60点換算前）		100	92	59	0	

技術者評価を重視した選定について

【調査内容】

○業務の出口段階の情報として、調査対象業務の業務成績評定点(内訳を含む)を調査。

出口段階:業務成績評定点の調査項目(案)					
評価項目			管理 技術者	担当 技術者	照査 技術者
専門技術力	提案力、改善力		9.5	9.5	—
	業務遂行技術力		19.0	19.0	—
	施工時への 配慮	概略設計 予備設計	—	—	—
		詳細設計	—	—	—
	コスト把握能力		—	—	—
管理技術力	工程管理能力		9.5	9.5	—
	品質管理能力		9.6	9.6	66.7
	迅速性、弾力性、 調整能力		4.8	4.8	—
コミュニケー ション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力		4.8	4.8	—
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観		9.5	9.5	—
成果品の品質			33.3	33.3	33.3
評定点の小計			100.0	100.0	100.0
業務執行に係る過失に伴う減点			0.0	0.0	0.0
事故等による減点			0.0	0.0	0.0
瑕疵修補又は損害賠償による減点			0.0	0.0	0.0
その他(低入札調査・業務コスト調査)			0.0	0.0	0.0
総合評定点			100.0	100.0	100.0

○受発注者に試行の効果・影響についてアンケート調査。

アンケート調査項目(案)	
発注者	受注者
・入札・契約手続きにかかる作業量は減少したか。	
・入札・契約手続きのどの作業がどの程度は減少したか。 (ex. 技術書類の審査が〇〇人日減少、等)	・入札参加に係るどの作業がどの程度減少したか。 (ex. 技術提案書作成作業の分が、〇円減少、〇〇人日減少、等)
・入札参加者に変化はあったか。 (参加者数、参加者属性等)	・入札参加の判断に影響はあったか
・業務成績の結果	・参加機会や受注機会について
・適用することが望ましい業種は何か	
・適用することが望ましくない業種は何か	
・本格導入に向けた課題等 ・その他 懸念事項について	

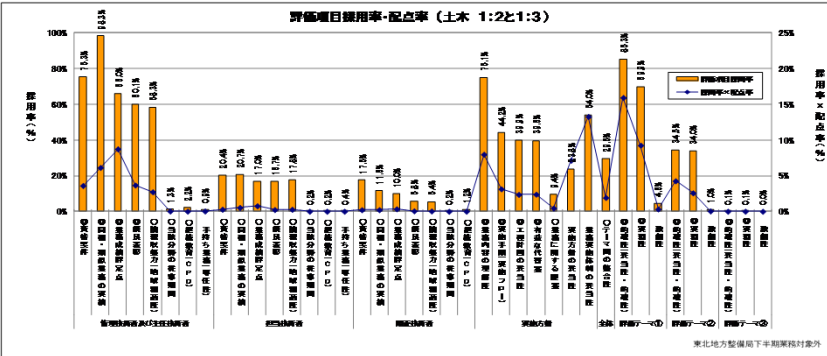
技術者評価を重視した選定について

【分析・評価方法】

I. 試行に関する評価方法

- ・試行業務の各評価項目の配点と得点の状況について集計・整理し(採用率、配点率、等)、落札者決定に影響を与えている評価項目や配点について分析・評価

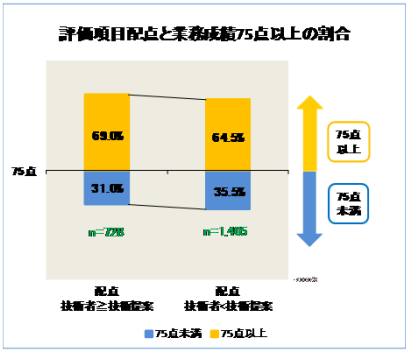
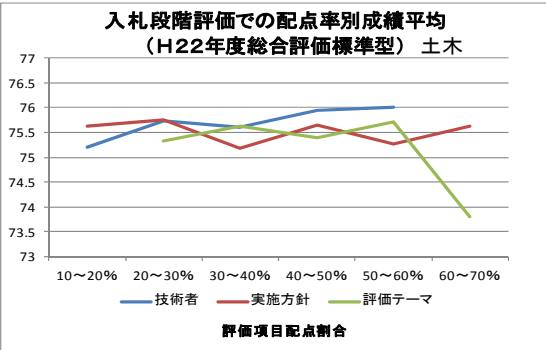
I. 分析イメージ



II. 試行業務の入口と出口の関係の分析・整理

- ・試行業務の入口での評価項目の配点率や得点率と出口の成績との関係について集計し、成績に影響のある評価項目について分析・評価

II. 分析イメージ



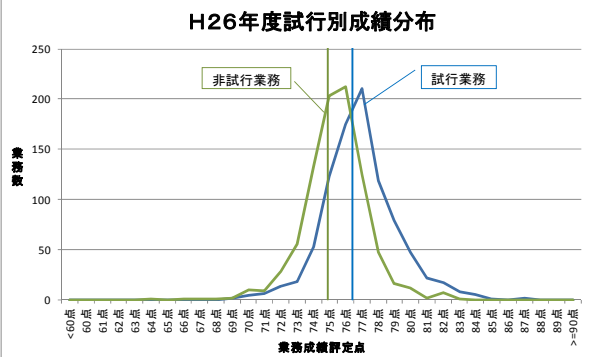
III. 試行業務と通常業務との比較分析

- ・試行業務と通常業務の成績について同種業務間で比較し、試行による成績について分析・評価

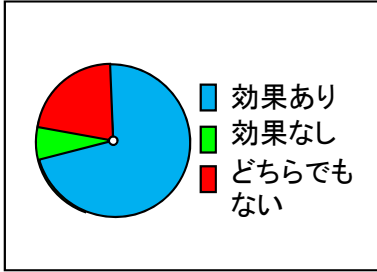
IV. アンケート結果の整理

- ・アンケート結果より、試行による作業負荷の削減等に関する効果の有無について整理

III. 分析イメージ



IV. 分析イメージ



V. 技術者評価の配点拡大

- ・上記の分析評価を踏まえて、技術者評価の配点拡大の妥当性、適用業務等について検討・整理